

八幡坂の歩み

長崎県立佐世保北中学校・高等学校
長崎県佐世保市八幡町6番31号
TEL 0956-22-4105/FAX 0956-22-5361
HPはこちらから→

第1号 令和7年4月30日発行

八幡坂を歩む六年間・三年間

校長 野村雄大

○ 4月1日より「佐世保北」の一員として八幡坂を歩むことになりました野村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。着任から一週間は、周りの景色さえる余裕もなくあわただしく過ぎていき、そして4月8日の朝を迎えました。坂の上からさわやかな春風がそよぐ中、在校生の皆さんが登校する光景を初めて見ながら八幡坂を登りました。しっかりした足取りの男子は高校3年生だろうか、楽しくおしゃべりをしながら登っている女子3人は中学3年生か、はたまた高校2年生か。その後ろで少しあごを上げながらゆらりゆらりと歩いている小柄の男子は中学2年生なのかな・・・などと思いを巡らせながら正門をくぐり抜けました。

○ 8日の昼下がり、上着の後ろがちよっと長い服を着て八幡体育館へ向かっていると、生徒玄関手前から運動場越しに見える八幡神社の桜の木々がきれいなピンク色に染まっていました。そして生徒玄関前に一本だけある桜の木が新入生を歓迎するように満開の桜を咲かせていました。何と穏やかで気持ちの良い入学式だったのでしょうか。第22回中学生、第80回高校生、入学おめでとう。あれから三週間、あわただしい学校生活だったかと思いますが、八幡坂の登校に少しは慣れたでしょうか。

○ 私はもともと世界史の教師で、先日縁あって高校2・3年生の世界史の時間に話をさせていただく機会がありました。久しぶりの教室でしたので、多少興奮しながら話をしてしまって生徒の皆さんにご迷惑をかけたのではないかと思います。しかしこの機会は私にとってまさしくワクワクするひと時で、初老のダジャレにも苦笑まじりに付き合ってくれる生徒の皆さんの温かさにも触れながら、教師の端くれであることを改めて感じました。私にとって世界史がワクワクであるように、生徒の皆さんも何か一つでも良いので、自分のワクワクを見つけ楽しむことができる中学・高校時代であって欲しいと願っています。

○ たまに座右の銘はと問われた時、「七転八起」と答えています。私は、自分が中学生になった頃から何かしらうまくいかないことが多くなってきたなあと自覚するようになって、もはや高校生の頃は失敗ばかりしていました。先生にもよく吐られていました。その頃この「ななころびやおき」ということばを知り、「ああ、転んだら起き上がればいいんだ。七回失敗しても、八回やり直せばいいんだから、あきらめるなっ自分」と言い聞かせるようになりました。大人になった今でもなかなかうまくいかないことがありますが、八起（はっき）のマインドでもってあきらめずに前へ進もうと努力しています。八幡坂の登り道も、途中であきらめない限り佐世保北の正門は君たちをいつまでも待っていてくれます。生徒の皆さんには六年間もしくは三年間、雨の日も風の日も、汗の日も涙の日も、あきらめることなく八起八起でこの坂を歩いて欲しいと願っています。

○ 福沢諭吉は、江戸から明治へと時代が大きく変容する中で、「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」と言われているのに、なぜ現実世界は賢と愚、貧と富の違いがあるのだろうか」と自問し、その違いは「学ぶと学ばないことによってできる」と結論づけました。今の私たちの現実世界も、様々な価値観が大きく変容している真ただ中といえます。こうした変容の中であって、150年程前の諭吉のことばは改めて考えさせられます。「学ぶ学ばない」は日々の授業の中だけに限られたものではありません。学級活動や学校行事、部活動や課外活動の中にもたくさんの学びがあり、学校生活のすべての場面で学びがあります。佐世保北の生徒として、あれもこれも積極に取り組んで心と体を成長させてください。また学校は集団生活の場でもありますので、ここで出会ったクラスメイトや部活動の仲間と切磋琢磨しながら友愛を育ててください。そして八幡坂を歩む六年間もしくは三年間を経て、自律した人となって八幡台から巣立ってください。

○ 令和七年度「八幡坂の歩み」第一号の発行にあたり、佐世保北のすべての生徒がワクワクを見つけ楽しみ、あきらめずに歩みを進め、校訓を体現しながら多くの学びを積み重ねる日々を過ごすことができることを心から願っています。末筆になりましたが、保護者・地域の皆さまにおかれましては、日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。これからも生徒たちの様々な活動へのご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。

入 学 式

高校

第1学年主任 岡 裕之

令和7年4月8日（火）に、本校第80回生の入学式が行われ、新入生230名が本校高校生活の第1歩を踏み出しました。新しい環境に飛び込んだ緊張とこれからの高校生活への期待を胸に式に臨みました。教室ではクラスメートと顔を合わせ、担任の先生の話聞いて少し安心できた様子でした。

本校校訓の「自律 積極 友愛」、スローガンの「輝け 北辰のごとく」（注：北辰＝北極星）を胸に、多くのことを学びかけがえのない高校3年間としてほしいです。この3年間で生徒のみなさんの人生の礎となると信じ、職員と生徒が両輪となり目標達成に向けて邁進していきたいと思ひます。

中学

第1学年主任 濱砂 陽子

4月8日（火）に入学式が行われ、男子53名、女子67名が元気に佐世保北中学校の仲間入りを果たしました。知らない人ばかりの中で大きな不安があったと思いますが、これからの中学校生活への期待と、将来への夢と希望に満ちたまなざしが印象的でした。高校生に負けない堂々とした態度と返事で無事に入学式を終えた120名です。これから迎えるであろう困難な出来事にも、みんなで立ち向かえる強い絆を結んでいきたいと思ひます。人生の中でたった一度しかない中学校生活。その3年間の中で、生徒たちが安心して楽しい学校生活を送り、そして大きく成長するため、職員一同全力でサポートしていきたいと思ひます。



高校 77回生進路結果等

進路指導部主任 小田切 俊幸

新教育課程初年度となる大学入学共通テストは、教科「情報」の新設や試験時間の延長など、大きな変更が行われました。出題傾向も、複数資料の提示や、日常や学習場面での問題解決を題材とした出題が多く、「思考力・判断力・表現力」をより深く問う内容でした。単なる暗記ではなく、普段の生活の中での素朴な疑問などに対し、それに主体的に取り組んだのかが問われています。

3月に卒業した77回生は、学年全体で受験に向けて粘り強く頑張りました。九州大学に現役10名が合格したことも、その頑張りが現れた一つだと思っています。それぞれの目標・夢の実現に向けて邁進していつくれることを願っています。

【総合型選抜、学校推薦型選抜、一般選抜全て含む 既卒生も含む】

＜国立大学＞

長崎大学	18
九州大学	10
熊本大学	17
佐賀大学	5
東京大学	1
大阪大学	5
北海道大学	1
九州工業大学	3
その他の国立大学	50

＜公立大学＞

長崎県立大学	8
北九州市立大学	3
福岡県立大	1
東京都立大学	1
その他の公立大学	14

＜医学部医学科＞

久留米大学	1
-------	---

＜主な私立大学＞

早稲田大学	5
慶應義塾大学	1
明治大学	2
法政大学	4
東京理科大学	1
立命館大学	6
西南学院大学	4
福岡大学	25
長崎国際大学	16

対面式・新入生歓迎行事

中学

中学生徒会 宮下 真弓

高校

高校生徒会 武市 桃果

4月21日(月)に、中学校生徒会執行部主催の歓迎行事を実施しました。最初に、新転任の先生や北中学校に関するクイズを行い、先生方の意外な一面や佐世保北中に関して楽しく学ぶことができました。悔しがったり飛び上がって喜んだりする姿に会場が熱気で包まれました。20問程度の問題に対して3年生女子3人が残るという激戦でした。引き続き、リズムに合わせて名前や好きなものなどを覚えていくゲームをしました。また、最後に無言で誕生日順に並ぶ活動をして、非言語でのコミュニケーション活動に取り組みました。各クラスや専門委員会にわかれての活動をする中で、「先輩方が頼りになる存在だと感じた。」「他学年の先輩方と話せて楽しかった。」という新入生からの感想が聞かれました。

4月21日(月)に、生徒会執行部主催の歓迎行事を実施しました。まずは「猛獣狩り」を行いました。「グループ内に各学年の生徒が1人以上いる」という特別ルールを設け、生徒たちは体育館内を駆け回りながら異学年の仲間を探し、積極的に会話する様子が見られました。

その後、学級ごとに1つの円を作り、学級対抗の〇×クイズを行いました。「1円玉は磁石にくっつかないが、1万円札は磁石にくっつく」など多種多様なクイズの答えを各クラスで考え合う姿からは生徒たちの笑顔も垣間見え、正解発表の瞬間には喜びの声や嘆きの声が至るところから聞こえてきました。

例年実施されていた歓迎遠足の代わりとして開催された歓迎行事を1つのきっかけとして、学級や学年を超えた繋がりが生まれることを期待しています。



高1

新入生研修

第1学年主任 岡 裕之

令和7年4月9日(水)～11日(金)の3日間、「学校理解」「北高生としての自覚」「親睦・集団づくり」を目的に、校内にて新入生研修が実施されました。これから、佐世保北高校でどのように過ごしていくのか、自分自身の目標もそれぞれ定めることができました。

研修の主な内容は、①講話(管理職の先生や高2・3年生の先輩方)②諸検査③クラス活動(係役員決め等)④集団行動・校歌⑤クラス紹介⑥長縄大会でした。特に3日目の集団行動・校歌発表ではどのクラスも機敏に動き、大きな声で校歌を歌うことができました。またクラス紹介では、寸劇やクイズ形式で発表を行うなど、どのクラスもクオリティの高い発表でした。長縄大会は80回生に因んで、合計80回を跳ぶ時間を競いました。

この研修で緊張も解け、前向きな言葉や笑い声が聞えるようになり、それぞれの生徒たちの個性も垣間見られるようになりました。管理職の先生方からの講話で「枠を決めずに、あれもこれもチャレンジしてほしい」とありました。生徒たちの可能性は無限大(∞)です。保護者・地域・学校の「成長サポートトライアングル」で生徒たちの成長促進ができればとの思いを強くした研修でした。



中1

野外学習活動

第1学年主任 濱砂 陽子

4月10日、11日に中学1年生の野外学習活動を行いました。1日目の10日(木)は世知原少年自然の家に行き、午前中はKAPLAというフランス生まれの木製ブロックを使い、塔を作ったりナイアガラの滝を作ったりしました。「クラスで塔を3つ作り、それぞれを通路でつないでください。」という指示が出た時は、果たしてどんなものが出来上がるのかと思いましたが、生徒たちの創造力たるや、自分たちの身長よりも高い立派な塔と、その塔をつないだ通路を中心に、ちょっとした街並みが作り出されました。午後からは沢登りに挑戦しました。岩の上をどんどん上っていく生徒、たとえ深みにはまっても気にせず進む生徒、足で探り探りしながら慎重に進む生徒。登り方はそれぞれでしたが、声を掛け合い、励まし合いながら登る姿と、絶えず見られる笑顔にこれからの学校生活が楽しみになってきました。11日(金)は本校の万徳体育館で集団行動を行いました。「集団行動は命を守る、仲間と協力する人間性が育つ、自分の学年に誇りをもつためにある」との教を胸に、一生懸命声を出し、教え合いながら集団行動のイロハを身につけていきました。最後には1列横隊からの5列縦隊を自分たちで考え、できるようになった班もありました。この2日間で学んだこと、経験したことを生かし、充実した中学校生活にしてほしいと思います。



行事予定

			中 学	高 校
5月	3	土	憲法記念日	
	4	日	みどりの日	
	5	月	こどもの日	
	6	火	振替休日	
	7	水	振替休日(5/10分)	
	10	土	体育祭会場設営・ブロック練習	
	11	日	北辰祭(体育祭)	
	12	月	振替休日(5/11分)	
	15	木	授業参観・学年/学級PTA	
	24	土	市中体(～6/15)	
6月	29	木	スケッチ大会	振替休日(5/31分)
	30	金		高総体開会式(佐世保市)
	31	土		県高校総体(～6/3)
	4	水		振替休日(6/1分)
	7	土		対外マーク(3年～6/8)
	13	金		学年/学級PTA
	23	月	第1回考査(～6/25)	第1回考査(～6/27)
	25	水		振替休日(6/28分)
	28	土		第1回オープンスクール

